データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
024	05937	削除フラグ	その他処分期別情報			X	1			必須	当該データが削除されたかどうかを表すフラグ（0：未削除、1：削除済）		◎
024	05289	操作者ID	その他処分期別情報			X	10			必須	操作者を一意に識別するコード		◎
024	05290	操作年月日	その他処分期別情報			DATE	10			必須	操作を行った年月日		◎
024	05291	操作時刻	その他処分期別情報			TIME	8			必須	操作を行った時刻		◎
024	05292	市区町村コード	不納欠損情報	○	○	X	6			必須	市区町村を一意に識別するコード（指定都市においては区までを特定）	総務省「全国地方公共団体コード」に従って6桁のコード値を設定すること	◎
024	05293	国保業務詳細コード	不納欠損情報	○	○	X	2	160		必須	業務詳細コードを設定		◎
024	05938	徴収方法区分	不納欠損情報	○	○	X	1	237		必須	特別徴収又は普通徴収か判断するためのコード		◎
024	05294	賦課年度	不納欠損情報	○	○	YEAR	4			必須	賦課を行った年度を設定（調定をたてる年度）		◎
024	05295	対象年度	不納欠損情報	○	○	YEAR	4			必須	賦課の対象となる年度を設定（課税すべき年度）		◎
024	05296	通知書番号	不納欠損情報	○	○	X	20			必須	徴収上必要なキー情報を設定		◎
024	05297	期別	不納欠損情報	○	○	X	2			必須	該当期を設定 現年随期の場合は"13"を始めとする期別連番を設定 過年随時の場合は納期限月に定められた該当期を設定 例：年間8期、随期2期の場合、随期の額は賦課世帯情報の現年度賦課期別額9、現年度賦課期別額10に設定するが、期別は"09","10"ではなく"13","14"を設定 過年度開始月が4月開始の場合、4月納期限は"13"、5月納期限は"14"、6月納期限は"15"・・・翌年2月納期限は"23"、翌年3月納期限は"24"を設定 過年度開始月が5月開始の場合、5月納期限は"13"、6月納期限は"14"、7月納期限は"15"・・・翌年3月納期限は"23"、翌年4月納期限は"24"を設定		◎
024	05939	最新フラグ	不納欠損情報			X	1			必須	当該データが最新かどうかを現すフラグ（0：最新ではない、1：最新である）		◎
024	05298	不納欠損区分	不納欠損情報			X	2	212		必須	不納欠損区分のコードを設定		◎
024	05299	不納欠損金額_保険料（税）	不納欠損情報			9	13			任意	不納欠損金額のうち本税分を設定		○
024	05300	不納欠損金額_延滞金	不納欠損情報			9	13			任意	不納欠損金額のうち延滞金分を設定		○
024	05301	不納欠損金額_督促手数料	不納欠損情報			9	13			任意	不納欠損金額のうち督促手数料分を設定		○
024	05302	整理番号	不納欠損情報			9	8			必須	滞納処分毎に顧客が設定している任意の番号を設定		◎
024	05303	起案年月日	不納欠損情報			DATE	10			必須	起案年月日を設定		◎
024	05304	決裁年月日	不納欠損情報			DATE	10			必須	決裁年月日を設定		◎
024	05305	取消年月日	不納欠損情報			DATE	10			必須	取消年月日を設定		◎
024	05306	備考	不納欠損情報			N	2000			必須	備考を設定		◎
024	05307	取消事由	不納欠損情報			X	2	260		必須	取消事由コード（"01"：停止または欠損の取消、"99"：その他）を設定		◎